

## 温泉の保護と利用に関する都道府県アンケート調査の結果（修正版）

## 1. 新規掘削許可の掘削深度別の内訳（過去10年の年度別 全国計）

	H5～9年度	H10～14年度	合計
新規掘削許可の総件数	2,470 (100%)	1,676 (100%)	4,146 (100%)
深度 100m未満	187 (7.6%)	146 (8.7%)	333 (8.0%)
100～500m未満	612 (24.8%)	454 (27.1%)	1,066 (25.7%)
500～1,000m未満	570 (23.1%)	401 (23.9%)	971 (23.4%)
1,000～1,500m未満	686 (27.8%)	403 (24.0%)	1,089 (26.3%)
1,500m以上	415 (16.8%)	272 (16.2%)	687 (16.6%)

	許可の年度別（平成・年度）									
	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
新規掘削許可の総件数	497	527	528	499	419	362	350	350	295	319
深度 100m未満	42	39	33	42	31	25	27	31	21	42
100～500m未満	111	131	153	132	85	101	87	86	84	96
500～1,000m未満	121	122	109	101	117	68	74	93	85	81
1,000～1,500m未満	144	158	160	120	104	96	98	82	58	69
1,500m以上	79	77	73	104	82	72	64	58	47	31

## 2. 掘削深度別の源泉状況の変化（平成5年度新規許可による掘削の源泉 平成14年度末現在 全国計）

	平成5年度 許可による 新規掘削 源泉数	源泉ゆう出状況の変化あり			源泉の 廃止*	左の変化 なし
		自噴から 動力揚湯 へ	揚湯量増や す動力変更			
新規掘削の源泉総数	497 (100%)	40 (8.0%)	36 (7.2%)	4 (0.8%)	31 (6.2%)	426 (85.7%)
深度 100m未満	42 (100%)	3 (7.1%)	3 (7.1%)	0 (0%)	2 (4.7%)	37 (88.1%)
100～500m未満	111 (100%)	4 (3.6%)	4 (3.6%)	0 (0%)	6 (5.4%)	101 (91.0%)
500～1,000m未満	121 (100%)	4 (3.3%)	4 (3.3%)	0 (0%)	7 (5.7%)	110 (90.9%)
1,000～1,500m未満	144 (100%)	21 (14.6%)	20 (13.9%)	1 (0.7%)	8 (5.6%)	115 (79.9%)
1,500m以上	79 (100%)	8 (10.1%)	5 (6.3%)	3 (3.8%)	8 (10.1%)	63 (79.7%)

\*注)「源泉の廃止」を個別に調べたところ、調査・試掘井で目的達成後の廃止(17)、ゆう出量が少なく利用せずに廃止(8)、土地転用や技術的理由による廃止(6)であった。

3. 温泉の宿泊利用者と日帰り利用者の数（過去10年の年度別 データ存在県計）

（人数単位：千人）

		年度別（平成・年度）									
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
A: 8 県計	宿泊利用 者数	21,066 (100)	20,773	20,740	21,223	21,207	20,379	20,551	20,233	19,759	19,391 (92)
	日帰り利用 者数	31,670 (100)	34,144	36,314	38,772	39,602	43,144	45,857	47,749	52,403	54,607 (172)
B: 3 県計	宿泊利用 者数	9,161 (100)	8,916	8,866	9,343	9,150	9,033	8,877	8,889	8,709	8,543 (93)
	日帰り利用 者数	2,371 (100)	3,254	4,293	5,091	6,293	7,310	8,309	9,914	12,399	13,025 (549)
	宿泊施設 日帰り利用	884 (100)	949	1,243	1,183	1,271	1,191	1,436	1,887	2,716	2,120 (240)
	日帰り専用 施設利用	1,487 (100)	2,306	3,050	3,908	5,022	6,118	6,873	8,026	9,683	10,905 (733)
	温泉公衆 浴場数	143 (100)	157	215	223	240	294	332	291	370	382 (267)

（注） A：県内ほぼ全域で日帰り利用者データがある8県（秋田、山形、栃木、千葉、奈良、和歌山、島根、高知）

B：上記のうち、日帰り利用者の利用施設区分データがある3県（栃木、千葉、奈良）

#### 4. 温泉法の許可についての要綱等の存否、内容

##### 4-1 温泉の「掘削」許可について

###### ①独自の審査事項等を定めた要綱等や内規の存否

- i) ; 要綱等又は内規がある 4 2 団体
- ii) ; 特にない 5 団体

###### ②上記 i) の場合の規定内容（複数回答あり）

- ・ 地域指定制 1 9 団体
- ・ 既存源泉からの距離制限 2 6 団体
- ・ 湧出路口径の制限 1 0 団体
- ・ 掘削深度の制限 6 団体
- ・ その他（近隣源泉の同意書添付、既存源泉への影響調査、地盤沈下防止など）

##### 4-2 温泉の「増掘・動力装置」許可について

###### ①独自の審査事項等を定めた要綱等や内規の存否

- i) ; 要綱等又は内規がある 4 3 団体
- ii) ; 特にない 4 団体

###### ②上記 i) の場合の規定内容（複数回答あり）

- ・ 揚湯試験の実施 7 団体
- ・ 揚湯量の制限 8 団体
- ・ 揚湯能力の制限 4 団体
- ・ その他（地盤沈下防止など）

##### 4-3 温泉の「利用」許可について

###### ①独自の審査事項等を定めた要綱等や内規の存否

- i) ; 要綱等又は内規がある 2 2 団体
- ii) ; 特にない 2 5 団体

###### ②上記 i) の場合の規定内容（複数回答あり）

- ・ 温泉成分の衛生・有害性に関する事項 1 5 団体  
（うち飲泉の取扱に関する事項 8 団体）
- ・ 施設の衛生管理 4 団体
- ・ その他（許可単位など）

## 5. 懇談会の検討に対する要望など

### 1) 温泉保護に関する事項

#### ○温泉法の許可制度に関する検討

- ・揚湯試験の義務づけ
- ・掘削距離制限、掘削深度制限の規定の整備
- ・規制適用の緩和（生活上必要な飲料水等を得るための掘削）
- ・源泉所有の権利の明確化

#### ○温泉資源に関する調査研究等

- ・大深度の地下水（温泉）採取と資源保護や地盤沈下との関係に関する研究
- ・温泉を中心とする地下水資源保護等に必要な規制・ガイドライン等

### 2) 温泉利用に関する事項

#### ○温泉利用の許可制度に関連する検討

- ・温泉利用許可の更新制導入（2）
- ・飲用基準の明確化・見直し（2）
- ・浴用許可の廃止手続きの整備
- ・規制適用の緩和（観光目的の足湯など）
- ・タンクローリーなど特殊な利用の取扱い

#### ○成分分析と掲示に関する検討

- ・温泉成分の再分析の義務づけ（3）
- ・成分の分析場所を利用施設に限定（2）
- ・掲示事項の追加（循環・加温・加水の有無、その理由など）（4）
- ・禁忌症、適応症、入浴・飲用上の注意の決定に係る医師関与の見直し（2）

#### ○利用に関する調査・検討

- ・温泉法の温泉に該当しない「温泉」名称使用の取扱いに関する検討（2）
- ・温泉の効用に関する調査

### 3) その他

- ・利用者の判断材料となるような指針・指標等の策定
- ・温泉排水の処理方法、環境への影響等の検討

注) ( ) 内は、複数団体から同趣旨の要望があった項目の団体数を示す。